

AAF NEWS

VOL.7

2010
WINTER

ご協力をいただいたみなさまにAAFの活動をお知らせします

CONTENTS

NEWS

TOPICS1

竹中工務店深江竹友寮で寮祭が開催され、売上金がAAFに寄付されました

TOPICS2

イタリア・パドヴァ市の文化センターにて、「持続可能性/国際協力」というテーマで、AAFの活動を発表しました

TOPICS3

テレビ番組 NHKアーカイブス「エペレスト初登頂から40年」でフィリムの学校が放映されました

LOCAL REPORT

INFORMATION・AAF PROFILE

AAF Asian Architecture Friendship



NEWS

大阪本町ロータリークラブから
フィリムの学校に図書が寄贈さ
れました

大阪本町ロータリークラブからフィリ
ムのブッダ・プライマリー&セカンダ
リー・スクールに教科書や参考書等の
図書が約1300冊寄贈されました。

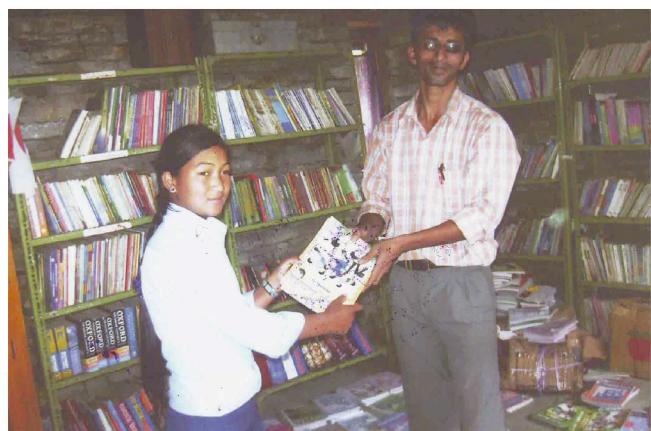
>次ページに詳細を掲載

2期工事で完成した生徒宿舎と奨学生たち

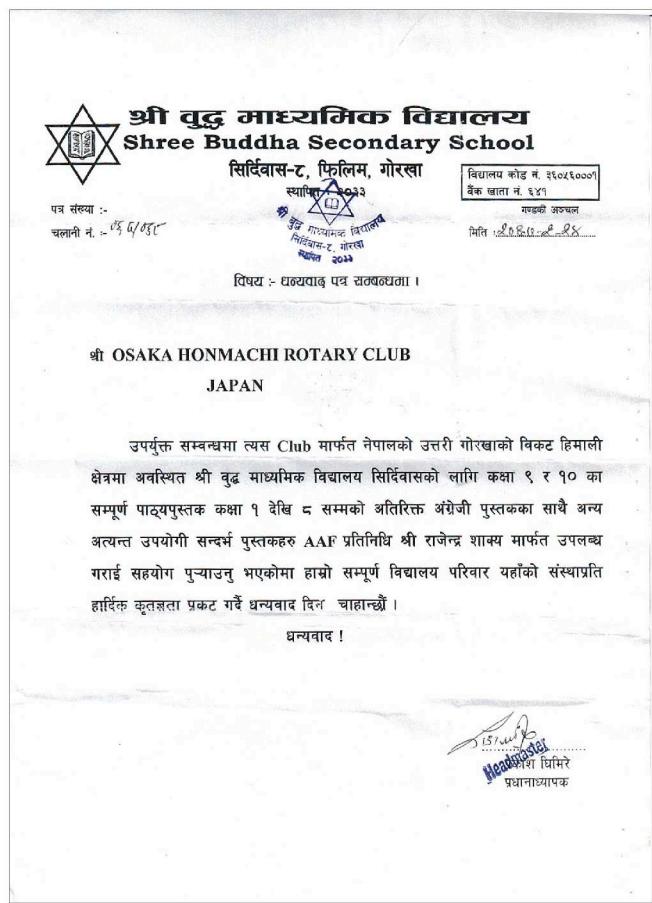
NEWS

大阪本町ロータリークラブからフィリムの学校に図書が寄贈されました

大阪本町ロータリークラブからフィリムのブッダ・プライマリー&セカンダリー・スクール（以下ブッダ・スクール）に教科書や参考書等の図書が約1300冊寄贈されました。2010年6月20日に贈呈式を行い、各学年の生徒代表に手渡されました。（写真は教師から9年生の生徒代表に教科書を手渡しているところです。）またブッダ・スクールのギミレ校長から、大阪本町ロータリークラブと、寄贈図書のリストアップや購入・運搬の手続き等を支援したAAFに対して感謝状が送られました。多くの方の協力で図書室の蔵書数も徐々に増え、教育環境として充実しつつあります。



教師から生徒代表に教科書が手渡された



ギミレ校長からの感謝状

TOPICS1

竹中工務店深江竹友寮で寮祭が開催され、売上金がAAFに寄付されました

2010年7月10日・11日に竹中工務店の新社員寮である深江竹友寮（神戸市東灘区）で「竹（TAKE）ACTION 2010」というテーマで寮祭が開催され、チャリティーバザーや模擬店での売上金が全額AAFに寄付されました。寄付金は、家が貧しいために学校に通いたくても通えないネパールの子供たちへの奨学金として使われる予定です。

TAKE ACTIONとは、直訳で「行動を起こす」という意味で、ひとり一人が楽しんで行う行動が、間接的に、困っている人のサポートにつながる、という想いが込められています。

具体的には、寮祭への参加者が購入した金券を使って絵を作り、絵が完成していくにつれて、学校に通えるネパールの子供たちの数が増えていく、といった企画です。

地域の子供たちと一緒に、世界の同じ世代の子どもたちがおられる環境を考えるきっかけづくりに、また一人ひとりの小さな力が集まることで大きな力になることを共に学べたら、という考えで実施されました。完成した絵は感謝のメッセージを込めて、寮祭終了後も1週間展示されました。

12月末にはAAFメンバーが現地へ赴き、ネパールの学校の先生や自治体に寮祭での活動を報告し、奨学金の運用方法等について話し合う予定をしています。

今回は2010年の新社員の企画ですが、今後も継続的に支援活動がつながっていくことを期待したいと思います。



金券で絵を作る子供たち



完成した絵

TOPICS2

イタリア・パドヴァ市の文化センターにて、「持続可能性／国際協力」というテーマで、AAFの活動を発表しました

2010年9月24日にイタリア・パドヴァ市の文化センター(Centro Culturale ALTINATE - SAN GAETANO)にて、パドヴァ建築家協会主催、パドヴァ市協力のもと「持続可能性/国際協力」(Cooperazione-Sostenibilita')というテーマの発表会があり、AAFのフィリムでの学校建設支援活動の発表を行いました。発表は元AAFメンバーで現在イタリアの設計事務所に勤める板倉満代さんが担当。2009年にフィリムの学校がイタリアの国際石材建築賞を受賞したこと、イタリアともつながりができ、今回の発表となりました。これをきっかけに、イタリアにおいてもさらに途上国の教育状況についての理解が深まり、支援の輪が広がっていくことを期待したいと思います。当日は、AAFの他、ハイチでの学校修復、ブラジルの木造建築の発表がありました。



発表会の様子

TOPICS3

テレビ番組 NHKアーカイブス「エベレスト初登頂から40年」でフィリムの学校が放映されました

2010年9月12日(日)NHK総合で放送されたテレビ番組 NHKアーカイブス「エベレスト初登頂から40年」で、ブッダ・スクールに奨学金の支援をいただいている松浦輝夫氏が出演されました。松浦氏は1970年5月11日に、故・植村直己氏とともに日本人として初めて世界最高峰・エベレストの頂上に立った登山家です。

ネパールでお世話になった人たちへの恩返しとして奨学基金を設立されたことをお話され、ブッダ・スクールの様子が放映されました。

LOCAL REPORT

在ネパール日本大使館の冊子“INFOJAPAN-Embassy of Japan in Nepal”にフィリムの学校の寄宿舎が紹介されました

在ネパール日本大使館の冊子“INFOJAPAN - Embassy of Japan in Nepal”vol.26 (2010年8月発行) にフィリムの2期工事で建設したブッダ・スクールの寄宿舎が紹介されました。

教師が取材を受け、「寄宿舎ができると、生徒数が増え、喜んでいる。(フィリムは) 9つのVDC (Village Development Committee) に散在する30の小学校の中心地なので、これからもっと生徒数は増えるだろう」とのコメントが寄せられています。

また、この寄宿舎は日本政府の草の根・人間の安全保障無償資金協力(GGP)と、日本のNGOであるAAFの支援によって建設されたことが記載されています。（以下原文）



First Secondary School Hostel in Philim, Gorkha



Aerial site of the project (dormitory/dining/toilet block)

Students of Shree Buddha Secondary School in Philim now have a hostel that consists of three dormitory blocks with comfortable rooms, kitchen/dining and toilet facilities. The hostel provides lodging facilities to the students from the remote hilly areas.

Over the years, the number of students attending Shree Bhuddha Secondary School from both the surrounding villages and remote parts of the district has increased as it is the only school in the area that provides secondary as well as primary level education. However, due to the lack of hostel facilities, students were compelled to obtain lodgings in the villages. Those from far-away places were forced to quit the school. Now after the construction of the hostel, the school can accommodate up to 110 students.

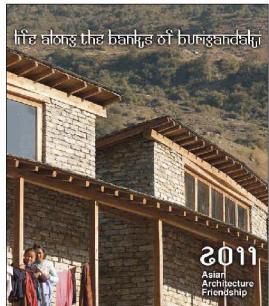
One of the teachers in the school commented enthusiastically, “We are happy that with the hostel facility, there has been an increase in the enrollment of students in the school. Last year there were 175 students, now it has reached 207. The number will increase more and more as it is the center for all 30 primary schools scattered over nine VDCs.” Students who came from Sirdibas and Chumchet expressed their gratitude towards the donors and remarked that their dream to continue study has come true thanks to the hostel facility. Others stated that their results were much better this year as they could concentrate more on their studies in the hostel.

The hostel was constructed under the joint financial assistance from the Government of Japan and a Japanese NGO - Asia Architecture Friendship Japan (AAF). The Government of Japan has provided funds through the GGP scheme amounting to US\$ 86,021 (about NRs. 5,130,000). With this grant, the project was implemented by the Himalayan Area Conservation and Development Committee, Gorkha, and was completed in May 2009.

It is to be reiterated that the Secondary School Building was constructed in 2001 under the GGP scheme of the Government of Japan.

INFORMATION

AAFの2011年カレンダーができました



卓上型・CDケース入り
サイズ12.5cmx14.1cmx0.9cm

2011年のAAFカレンダーができました。今回のテーマは“LIFE ALONG THE BANKS OF BURIGANDAKI”。AAFが建設支援した学校のあるフィリムから下流のソティまで、ブリガンドキ川沿いのひとびとのくらしをテーマとして構成しました。ご希望の方はゆうちょ銀行の払込取扱票の通信欄に「カレンダー希望」とご記入の上、1口1000円+送料(下記参照)の寄付をお願いいたします。寄付1口につき、カレンダーを1部お送りさせていただきます。

>>>送料

1口:200円 2口:240円 3~4口:390円 5口以上:580円

AAF会員を募集しています

AAFの活動は多くの皆さまからのご協力によって成り立っています。

会員制度は活動の主旨にご賛同いただき、継続してご支援いただける方にAAFの会員になっていただき、その会費を支援活動の資金に充当する制度です。会員はAAFの活動における資金ボランティアと位置付けられ、具体的な活動やその他の責任は求められていません。会員になっていただいた方には会報「AAF NEWS」をお送りさせていただきます。また会員特典として、1月末までにご入会いただいた方には2011年のAAFカレンダーをもれなくお送りさせていただきます。ぜひとも多くの皆さまの入会をお待ちしております。

>>>入会方法

ゆうちょ銀行払込取扱票の通信欄に「入会希望」とご記入の上、郵便振替にて下記の会費をお振込ください

>>>会費

一般会員: 1口 5,000円(年額)

法人会員: 1口50,000円(年額)

AAF PROFILE

AAF (Asian Architecture Friendship)

1998年、竹中工務店大阪本店設計部の有志を中心に発足した民間ボランティア団体です(2000年AAFと改名)。建築を専門とする職能を活かして、ネパールのフィリムでの学校建設(2003年竣工)を皮切りに、アジア地域の開発途上国における学校等の施設建設支援を中心とする活動を行っています。

AAFの活動と実績

- 2003.04 ネパールのフィリムに'Buddha Primary&Secondary School'竣工
- 2005.04 「ヒマラヤに学校を建てよう!建築家のボランティア奮闘記」(彰国社)を出版
- 2005.07 「AAFのNGO活動—ヒマラヤの学校建設—」展を開催(ギャラリー エーカウッド/東京)
- 2006.04 こども環境学会賞活動奨励賞受賞
- 2006.08 日本ネパール女性教育協会との提携によるカニヤ・キャンパスボカラ「さくら寮」竣工
- 2006.10 「パラレル・ニッポン 現代日本建築展1996-2006」(東京写真美術館)に出演
- 2007.05 日本建築学会賞(業績)受賞
- 2008.08 フィリムの学校、ボカラの「さくら寮」がイタリアの建築雑誌'domus'に掲載
- 2008.08 フィリムの学校が韓国の建築雑誌'C3'に掲載
- 2008.08~ 国際巡回展「地球にやさしい建築展」に出演
- 2008.10 フィリムの学校がタイのデザイン雑誌'art4d'に掲載
- 2009.05 フィリムの2期工事である寄宿舎(3棟)と食堂棟、便所棟が竣工
- 2009.10 フィリムの学校が第11回国際石材建築賞を受賞
- 2010.03 「ヒマラヤの学校建設その後—AAFのNGO活動展 vol.2」を開催(ギャラリー エーカウッド/東京)
現在3期工事(寄宿舎2棟、教師宿舎棟)に向けて支援活動継続中

アジアに学校等をつくるための 寄付にご協力ください

AAFは、学びたくても学ぶことができないアジアのこどもたちのために、学校や寄宿舎等の教育関連施設をつくるボランティア活動を推進しています。多くの方々の協力により開校したネパール・フィリム村の学校建設プロジェクトの3期工事(最終段階)として、現在教員宿舎および生徒宿舎の増築を計画中です。教員の多くは都市部から派遣されていますが、車の通れる道のある町から歩いて2日かかる山奥の学校のため、不便ながら民家に下宿して生活しています。遠隔地に住むこどもたちのための宿舎はもちろんのこと、今後も優秀な教員を継続的に確保してゆくためには、教員の生活環境を改善することも重要な支援のひとつであるとAAFは考えています。みなさまのご支援・ご協力をお願いいたします。

>>>寄付の方法

ゆうちょ銀行払込取扱票の通信欄に「寄付」とご記入の上、郵便振替にてお振込ください

AAFへの郵便振替は下記口座にお願いいたします

>>>口座番号 :00910-0-64819

>>>加入者名 :AAF基金

※払込取扱票には住所・氏名・電話番号を必ず記入してください

※電子メールをご利用可能な方はE-mailアドレスを併記ください

※個人情報はAAF基金運用の目的以外で使用いたしません

編集後記

今年もあとわずかになり、またカレンダーの季節。2011年版は人物も多くネパールの人たちの様子がよりわかるのでは。長く訪れていないので、またフィリムの麦穂が揺れる音を聞きたいな。 T